

Market Report

2024年12月号



インドネシアのFFB生産の見通し

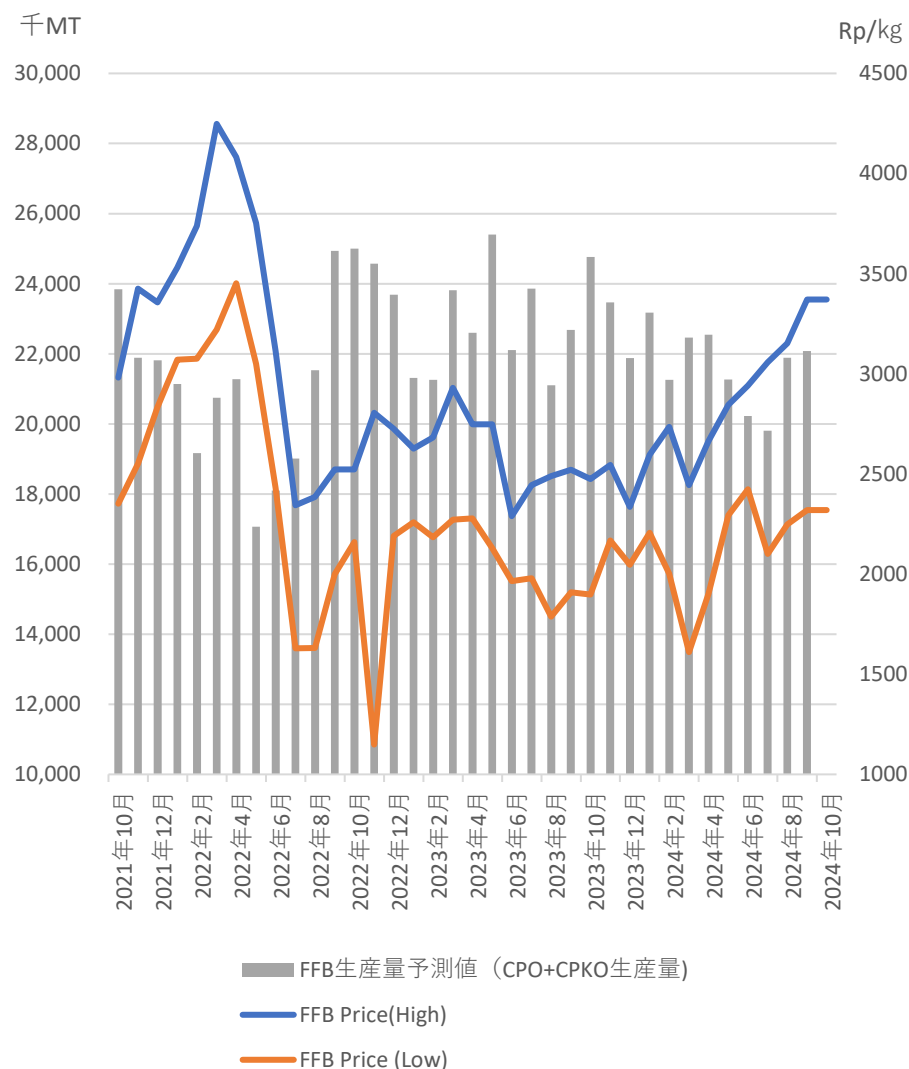
1. 実績

2024年11月のインドネシア国内22州でのF作付年齢10~20年の平均FFB価格は3,040Rp/kgであり、前月の10月より約8%価格が上昇している。11月中の最高価格は、西スマトラ州で3,744Rp/kg、最低価格は、南スラウェシ州で、2,390Rp/kgであった。

2. FFB生産量予測

7月から8月にかけてFFBの生産量が増加している。乾季による収穫のピークシーズンにより、収穫量が増加しているとおもわれる。10月以降は、インドネシア全体で雨期に入り、生産量が落ちていくと予想される。

インドネシア国内のFFB価格(最大・最小)
パームオイル生産量から推定されるFFB生産量

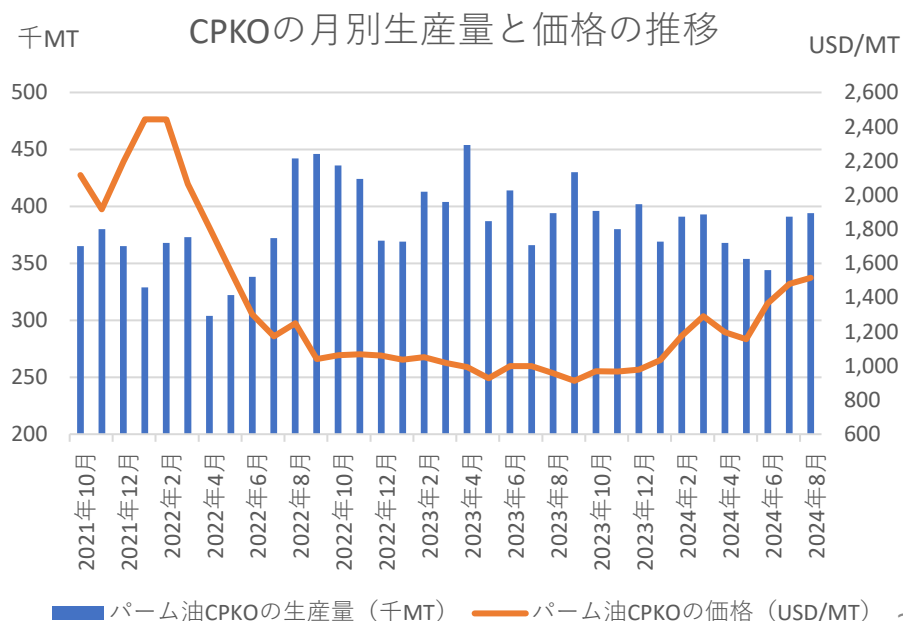
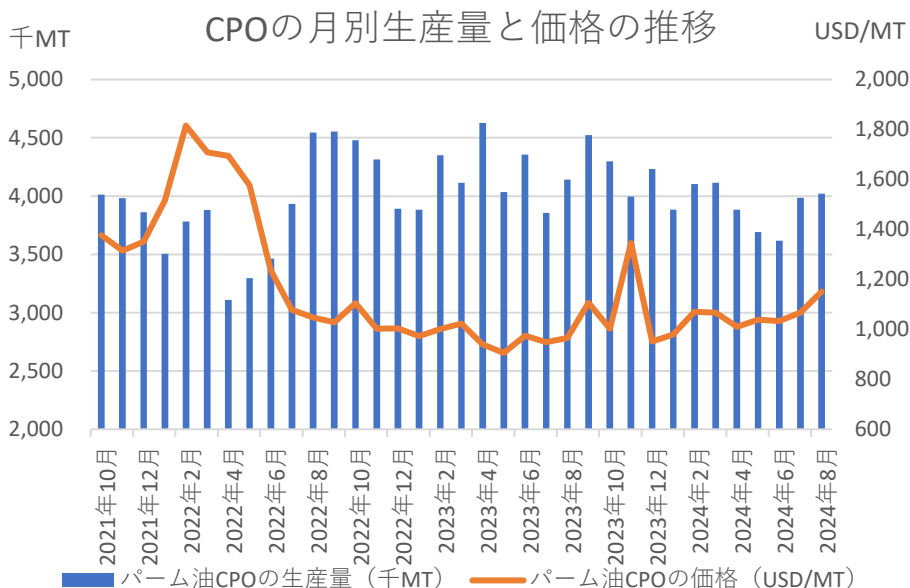


インドネシアのパーム油CPO及びCPKOの生産量及び価格見通し

実績

CPO（CIFロッテルダム）の平均価格は2024年11月の1,308 USD/MTと比較して2024年10月は1,268 USD/MTとなり、40 USD/MT（前月比で約3%）上昇した。また、2023年11月のCPO平均価格1,265 USD/MTと比較すると、43 USD/MT（前年比で約3%）上昇した。

CPKO（CIFロッテルダム）の平均価格は2024年11月の2,015 USD/MTと比較して2024年10月は1,636 USD/MTとなり、379 USD/MT（前月比で約23%）上昇した。また、2023年11月のCPO平均価格968 USD/MTと比較すると、1,047 USD/MT（前年比で約108%）上昇した。



インドネシアからのPKSの輸出量及び輸出額見通し

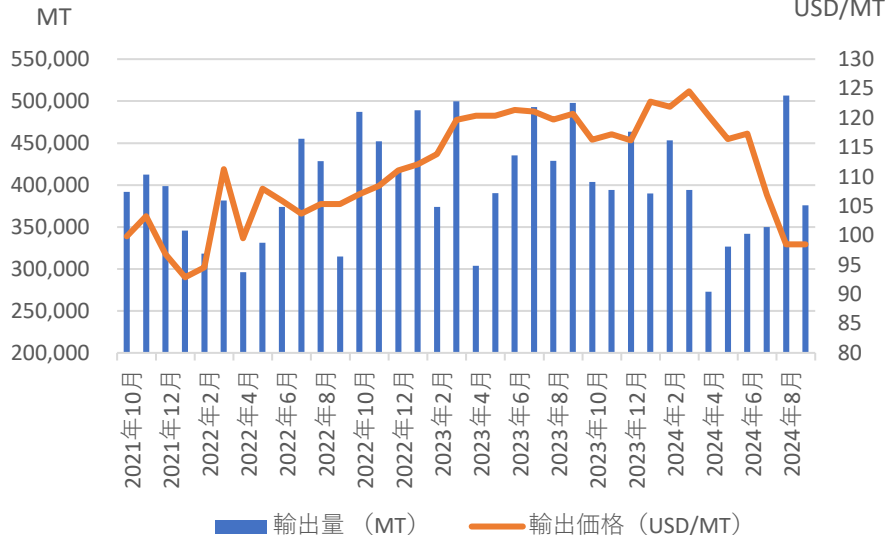
実績

2024年10月のインドネシアのPKS輸出量は、472,822トンとなり、9月の輸出量375,928トンと比較すると96,894トン（前月比で約26%）の増加となった。

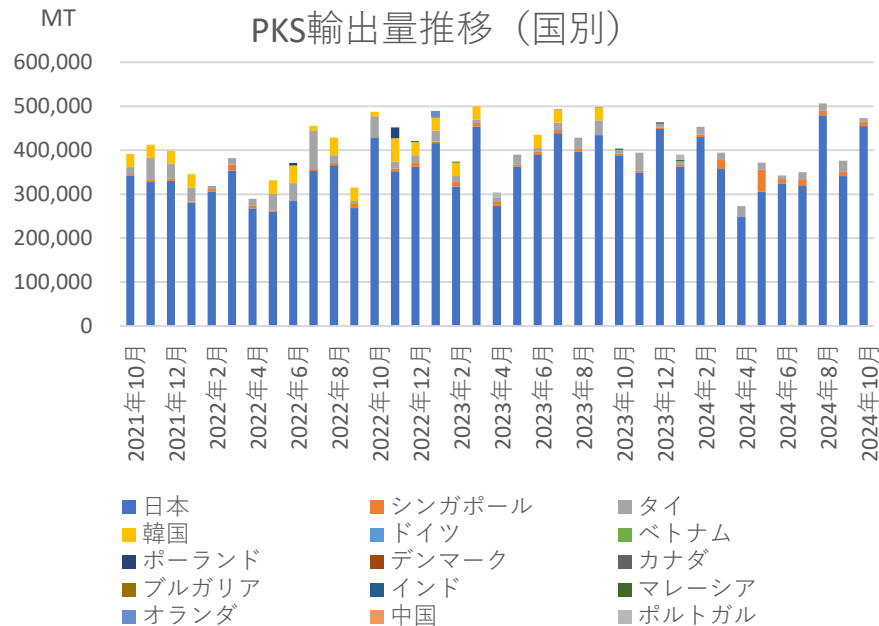
前年2023年10月のPKS輸出量403,769トンと比較すると、2024年10月の輸出量は69,053トン（前年比で約17%）増加した。2024年10月のPKS輸出額は48,739,167USDを記録した。

2024年10月最大の輸出先は日本であり、輸出量は454,537トン、外貨換算額は44,989,629 USDを記録した。（日本へのPKS輸出量は、インドネシア全体の輸出量の約91%を占める）日本への輸出量を9月の輸出量340,948トンと比較すると113,539トン（前月比で約33%）の増加となった。

PKS輸出量と輸出価格の推移



PKS輸出量推移（国別）



インドネシアからのPKSの輸出量及び輸出額見通し

1. CPO価格、FFB価格の見通し

-11月中はインドネシア全域が雨期に入りFFBの生産が減少した、また、新年とクリスマスの休暇によるFFBの供給減を見込み、FFB価格が高騰した。

-パーム生産国であるインドネシアがB40のバイオディーゼル(CPO:40%、軽油60%の混合燃料)の販売計画に伴い、国内CPOの需要が高まり、FFB、CPOの価格は引き続き、上昇の傾向が続くと見込まれる。

2. PKS価格の見通し

一度大きくPKSの輸出量が落ち、PKSの価格も落ちたが、輸出量は回復傾向にある。また、11月のFFBとCPOの生産量が雨期の影響で減少している。そのため、今後のPKS需要の増加とPKSの供給量が少ない状態が続いた結果、PKS価格が上昇する可能性がある。

3. インドネシア国内の政策

パーム生産国であるインドネシアがB40のバイオディーゼル(CPO:40%、軽油60%の混合燃料)の販売計画に伴い、国内CPOの需要が高まっている。

また、B40の国内供給に関連して、CPOの輸出制限を強化する可能性がある。